



平成26年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年6月11日

上場会社名 株式会社ティー・ワイ・オー 上場取引所 東
 コード番号 4358 URL http://group.tyo.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 博昭
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 経営戦略本部長 (氏名) 上窪 弘晃 (TEL) 03-5434-1586
 四半期報告書提出予定日 平成26年6月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年7月期第3四半期の連結業績(平成25年8月1日～平成26年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年7月期第3四半期	19,172	6.5	1,248	6.9	1,064	0.1	406	△35.8
25年7月期第3四半期	18,008	2.1	1,167	△14.8	1,064	1.6	632	△22.2

(注) 包括利益 26年7月期第3四半期 423百万円(△35.0%) 25年7月期第3四半期 651百万円(△21.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年7月期第3四半期	6.76	6.43
25年7月期第3四半期	10.58	10.14

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年7月期第3四半期	13,313	4,686	34.0
25年7月期	13,057	4,352	32.0

(参考) 自己資本 26年7月期第3四半期 4,528百万円 25年7月期 4,182百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年7月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年7月期	—	0.00	—		
26年7月期(予想)				6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年7月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 3円00銭 記念配当 3円00銭(上場市場変更記念配当)

3. 平成26年7月期の連結業績予想(平成25年8月1日～平成26年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,500	6.0	1,700	13.8	1,540	10.8	890	10.1	14.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年7月期3Q	61,229,430株	25年7月期	59,736,930株
② 期末自己株式数	26年7月期3Q	608株	25年7月期	608株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年7月期3Q	60,111,000株	25年7月期3Q	59,736,322株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業的前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種経済対策や為替の円安基調に加えて、消費税増税前の駆け込み需要により、個人消費の拡大や企業業績の着実な改善が見られ、景気は緩やかな回復基調となりました。

このような環境のもと、当社グループは、「TYOグループ中期経営計画2013(※)」に基づき、TV-CM事業(広告代理店経由モデル)の継続強化及びマーケティング・コミュニケーション事業(広告主直接モデル)の躍進を目指し、積極的な事業展開を継続してまいりました。当第3四半期連結会計期間においては、広告市場全体が堅調に推移したこと、下期以降へ検収時期が変更となった案件を着実に回収したこと、並びに新規案件等の受注が好調に推移したことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高及び営業利益は前年同四半期比で増収増益に転じました。当第3四半期連結会計期間末の受注残高についても、消費税増税前の駆け込み需要の一巡後も前年実績の水準を超え、堅調に推移しております。

一方、シンジケートローン契約の締結による一時費用として95百万円を営業外費用に計上したことに伴い、経常利益は前年同四半期比で微増に留まりましたが、同契約の締結に伴う借入条件の変更により、今後の支払利息及び年間返済額が減少し、また機動的な短期運転資金の枠が拡大したため、当社グループの事業活動や利益向上に貢献するものと考えております。また、貸倒引当金繰入額102百万円を特別損失に計上したこと、及び法人税等525百万円を計上したことにより、四半期純利益は前年同四半期比で減少いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高19,172百万円(前年同四半期比6.5%増)、営業利益1,248百万円(前年同四半期比6.9%増)、経常利益1,064百万円(前年同四半期比0.1%増)、四半期純利益406百万円(前年同四半期比35.8%減)となりました。なお、販売費及び一般管理費には、M&Aによるのれん償却額52百万円が含まれております。

※ 詳細については、平成25年9月12日に発表した「TYOグループ中期経営計画2013」をご覧ください。

セグメント別の概況は次の通りであります。

①TV-CM事業

当事業は、主として広告代理店向けにTV-CMの企画・制作及びポスト・プロダクション業務を行っております。

TV-CM制作市場の規模が堅調に拡大を続けている業況のもと、当事業では、TV-CM制作業界の大手1社であることの優位性やクリエイティブ力等を背景に、積極的な営業活動を行った結果、消費税増税前の駆け込み需要を順調に取り込み、飲料、電気・情報通信、自動車、衣料等をはじめとした業界からの案件受注が引き続き好調に推移いたしました。さらに、案件単価についても堅調に推移していることから、当事業の売上高は前年同四半期比で増収に転じました。また、厳格な売上原価管理、販売費及び一般管理費の抑制に努めた結果、営業利益についても前年同四半期比で増加いたしました。

以上の結果、当事業は売上高14,397百万円（前年同四半期比9.7%増）、営業利益2,626百万円（前年同四半期比16.3%増）となりました。なお、販売費及び一般管理費には、M&Aによるのれん償却額2百万円が含まれております。

②マーケティング・コミュニケーション事業

当事業は、主として広告主向けにWEB広告及びプロモーションメディア広告の企画・制作等、クロスメディア広告業務を行っております。

当事業では、企画・提案能力の向上に努め、営業・制作体制の拡充を図ったことにより、新規顧客の獲得や既存顧客の新規案件創出につながり、既存事業ベースでの売上高は前期実績を上回りましたが、当事業全体については、昨年5月に当事業内の1つのブランド（テオリア）を事業譲渡したことに伴い、売上高は前年同四半期比で減少いたしました。

利益面については、一部大型案件におけるメディア及びデバイスの急激な多様化に対応した新技術開発等の過程で、制作費が想定を超えて推移したこと等が利益の圧迫要因となりました。他方で、WEBや映像、イベント等の一括受注案件の増加に伴い、制作の業務領域が拡大しており、案件によってはTV-CM事業への制作の振り分け、及び一部業務の外部委託が増加いたしました。今後は、当事業全体で案件受注時から全ての制作過程において、徹底した利益管理に取り組み、早期の黒字化を目指してまいります。

以上の結果、当事業は売上高3,838百万円（前年同四半期比2.3%減）、営業損失148百万円（前年同四半期は43百万円の営業損失）となりました。なお、販売費及び一般管理費には、M&Aによるのれん償却額49百万円が含まれております。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて403百万円増加し、9,485百万円となりました。主な要因は、繰延税金資産が106百万円減少しましたが、仕掛品が597百万円増加したことによるものです。

② 固定資産

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて148百万円減少し、3,828百万円となりました。主な要因は、有形固定資産が75百万円、保険積立金が69百万円、のれんが52百万円それぞれ減少したことによるものです。

③ 総資産

上記の結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて255百万円増加し、13,313百万円となりました。

④ 流動負債

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて228百万円増加し、5,058百万円となりました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が200百万円、未払金が106百万円減少しましたが、買掛金が421百万円、未払法人税等が160百万円増加したことによるものです。

⑤ 固定負債

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて306百万円減少し、3,569百万円となりました。主な要因は、役員退職慰労金が19百万円増加しましたが、長期借入金が325百万円減少したことによるものです。

⑥ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて334百万円増加し、4,686百万円となりました。主な要因は、配当金の支払により179百万円減少しましたが、四半期純利益の計上により406百万円増加し利益剰余金が226百万円増加したこと、ストックオプションの行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ55百万円増加したことによるものです。その結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は34.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点においては、平成25年9月12日に公表いたしました、平成26年7月期通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,394,817	3,367,393
受取手形及び売掛金	3,656,606	3,658,446
仕掛品	1,459,983	2,057,468
原材料及び貯蔵品	6,020	5,722
繰延税金資産	182,269	75,363
その他	401,868	329,990
貸倒引当金	△20,064	△8,937
流動資産合計	9,081,500	9,485,447
固定資産		
有形固定資産	2,127,950	2,052,382
無形固定資産		
のれん	300,641	248,503
その他	104,949	94,910
無形固定資産合計	405,591	343,413
投資その他の資産		
投資有価証券	132,480	112,179
繰延税金資産	324,665	317,077
保険積立金	578,499	508,537
差入保証金	348,296	347,336
その他	814,998	310,047
貸倒引当金	△756,131	△162,883
投資その他の資産合計	1,442,809	1,432,294
固定資産合計	3,976,351	3,828,090
資産合計	13,057,852	13,313,537
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,931,220	3,352,811
1年内返済予定の長期借入金	700,000	500,000
リース債務	131,498	110,106
未払法人税等	171,888	332,545
賞与引当金	100,201	8,806
前受金	169,148	217,710
未払金	547,450	440,903
その他	78,286	95,305
流動負債合計	4,829,694	5,058,189
固定負債		
長期借入金	3,250,000	2,925,000
リース債務	245,138	242,421
退職給付引当金	15,286	15,851

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
役員退職慰労引当金	280,946	300,521
資産除去債務	84,512	85,269
その他	9	—
固定負債合計	3,875,894	3,569,063
負債合計	8,705,588	8,627,253
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,751,057	1,806,801
資本剰余金	747,189	802,934
利益剰余金	1,688,595	1,915,546
自己株式	△109	△109
株主資本合計	4,186,732	4,525,172
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,514	3,410
その他の包括利益累計額合計	△4,514	3,410
新株予約権	92,089	75,159
少数株主持分	77,956	82,541
純資産合計	4,352,264	4,686,284
負債純資産合計	13,057,852	13,313,537

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年8月1日 至平成25年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年8月1日 至平成26年4月30日)
売上高	18,008,206	19,172,075
売上原価	14,656,879	15,714,243
売上総利益	3,351,327	3,457,831
販売費及び一般管理費	2,183,569	2,209,663
営業利益	1,167,757	1,248,167
営業外収益		
受取利息	239	374
組合出資分配金	24,581	20,121
保険返戻金	799	23,701
その他	15,718	14,858
営業外収益合計	41,338	59,056
営業外費用		
支払利息	60,571	52,742
売上債権売却損	40,967	48,485
支払手数料	14,999	21,666
組合出資減価償却費	14,006	11,218
シンジケートローン手数料	9,075	103,705
その他	5,319	4,689
営業外費用合計	144,939	242,508
経常利益	1,064,156	1,064,716
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3,697
その他	19,226	690
特別利益合計	19,226	4,387
特別損失		
貸倒引当金繰入額	—	102,032
その他	43,783	25,774
特別損失合計	43,783	127,806
税金等調整前四半期純利益	1,039,599	941,297
法人税、住民税及び事業税	162,055	415,727
法人税等調整額	236,550	110,097
法人税等合計	398,605	525,824
少数株主損益調整前四半期純利益	640,994	415,472
少数株主利益	8,775	9,313
四半期純利益	632,218	406,159

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年8月1日 至平成25年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年8月1日 至平成26年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	640,994	415,472
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,537	7,924
為替換算調整勘定	2,781	—
その他の包括利益合計	10,318	7,924
四半期包括利益	651,312	423,397
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	642,463	414,083
少数株主に係る四半期包括利益	8,848	9,313

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年8月1日至平成25年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	TV-CM 事業 (千円)	マーケティング・コミュニケーション 事業 (千円)	合計 (千円)	その他 (千円) (注) 1	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	13,129,041	3,928,173	17,057,214	950,991	—	18,008,206
セグメント間の内部売上高 又は振替高	491,502	35,885	527,388	20,002	△547,390	—
計	13,620,544	3,964,058	17,584,602	970,994	△547,390	18,008,206
セグメント利益又は損失(△)	2,257,753	△43,965	2,213,787	92,059	△1,138,090	1,167,757

(注) 1 その他は、アニメーション、ミュージックビデオの企画・制作等を行っております。

2 セグメント損益の調整額△1,138,090千円には、セグメント間取引消去93,588千円及び全社費用△1,231,679千円が含まれております。全社費用は、主に管理部門に係る人件費及び経費であります。

3 セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成25年8月1日至平成26年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	TV-CM 事業 (千円)	マーケティング・コミュニケーション 事業 (千円)	合計 (千円)	その他 (千円) (注) 1	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	14,397,312	3,838,207	18,235,519	936,555	—	19,172,075
セグメント間の内部売上高 又は振替高	666,682	35,354	702,037	982	△703,019	—
計	15,063,995	3,873,561	18,937,557	937,537	△703,019	19,172,075
セグメント利益又は損失(△)	2,626,667	△148,196	2,478,471	95,713	△1,326,016	1,248,167

(注) 1 その他は、アニメーション及びミュージックビデオの企画・制作等を行っております。

2 セグメント損益の調整額△1,326,016千円には、セグメント間取引消去2,093千円及び全社費用△1,328,110千円が含まれております。全社費用は、主に管理部門に係る人件費及び経費であります。

3 セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。